

令和6年度 事業報告書 -第22号-



社会福祉法人 福岡市社会福祉事業団
福岡市立障がい者就労支援センター

目 次

概 要

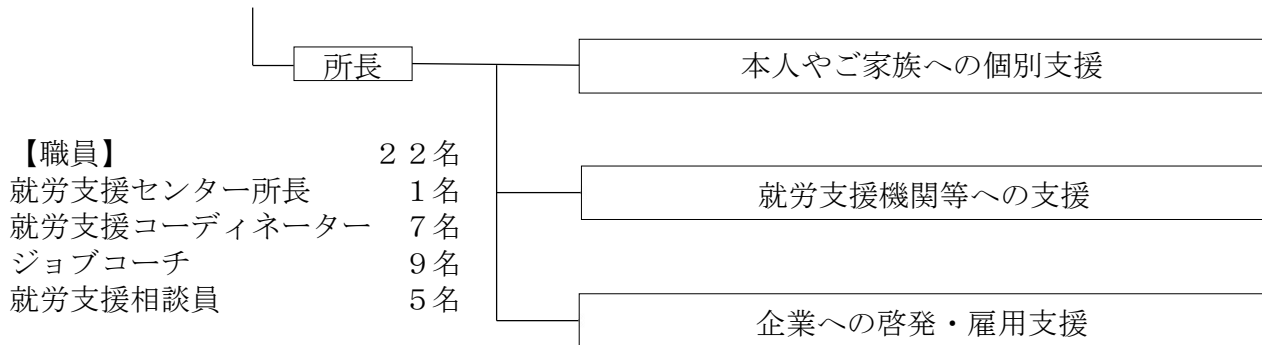
福岡市立障がい者就労支援センター概要	1
福岡市立障がい者就労支援センター沿革	3

事業実績

1. 相談の状況	4
2. 登録者の利用状況	4
3. 支援の状況	5
4. 就職者の状況	5
5. 事業実施の状況	7
6. その他	1 1

福岡市立障がい者就労支援センターの概要

1. 名 称 福岡市立障がい者就労支援センター
2. 所 在 地 〒810-0073 福岡市中央区舞鶴1丁目4番13号 福岡市舞鶴庁舎4階
電話 092(711)0833 F A X 092(711)0834
3. 目 的 障がい者の民間企業等への就労や職場定着を促進するため、本人や家族、企業・関係団体等からの相談に応じると共に、職場開拓やジョブコーチ派遣等による人的支援など、障がい者雇用の支援を実施することによって障がい者の就労促進を図ることを目的とする。
4. 開 設 平成15年4月1日 (令和5年7月1日より指定管理)
5. 設 置 福岡市
6. 管理運営 社会福祉法人 福岡市社会福祉事業団 (福岡市より指定管理者として選定)
7. 職員体制 福岡市社会福祉事業団 障がい者就労・発達支援課



8. 管理運営業務

(1) 障がい者の相談・支援事業

障がい者本人やその家族などからの相談に対応する。相談内容により、障がい者を適切な就労支援機関につなげるため、就労に関するアセスメント（職業評価）を実施するなど、個々の障がい者に応じた対応を行う。

(2) 民間就労支援機関への支援

- ①市内の民間就労支援機関の職員を対象とした研修会を年間3回以上実施する（企業との意見交換会等を含む）とともに出前講座（事業者内研修等への講師派遣）を実施する。
- ②企業や実習先に関する情報提供する。
- ③民間の就労支援機関からの利用者を支援する上での相談に対して、アセスメント（職業評価を含めた助言等）を行う。

(3) 企業への支援

- ①企業からの障がい者を雇用する上での相談に対応するため専用の電話やメール等の窓口である障がい者雇用サポートデスクを運営し、企業へ啓発・助言を行う。
- ②障がい者雇用に関する企業向けのセミナーを年3回以上開催する。
また、出前講座（社内研修等への講師派遣）を実施する。
- ③在職者を対象とした就労ソーシャルスキルトレーニング（SST）講座の実施や、ジョブコーチを派遣し、企業等での障がい者に対する業務指導及び職場定着に必要な生活面の支援を行う。
- ④企業等に対し、障がい者雇用に対する理解促進に向けた広報・啓発活動により、障がい者の就労を促進する。

(4) 関係機関との連携等

- ①就労を希望する発達障がい者については、発達障がい者支援センターと連携・協力して対応する。また、民間の就労移行支援事業所、企業等にとって就労への困難度が高い、長期的な支援を必要とする障がい者に対して、公的な機関として、きめ細かく対応していく。
- ②大学、短大等の教育機関と連携し、礼儀、挨拶、身だしなみなど、ビジネスマナーに関するスキルアップセミナーとして、3回の講座を年間2サイクル実施する。
- ③区障がい者基幹相談支援センター等の関係機関に対し、就労支援機関に関する情報提供、研修等を行う。
- ④公共職業安定所等の労働関係機関との連携を密にし、福祉・教育・企業等とのネットワークをつくり、それらをつなぐ役割を果たし、効果的な支援を行う。

(5) その他の支援

障がい者インターンシップ事業として、就労を目指している障がい者に、側場実習の場として福岡市庁舎や区役所等を提供することを目的に、実習生の決定、実習時期・内容の組み立て、ジョブコーチの派遣等を行う。

(6) 研修室等の貸出

障がい者団体等に対し、条例、規則に基づき講習室、研修室等の利用提供を行うこと。

(7) 広報、啓発事業

ホームページの活用を行うなど、事業の広報に努めること。

また、障がい者への理解を深めるため、地域、校区の住民や福祉関係者の施設見学、研修等を積極的に受け入れ、啓発を行うこと。

9. 沿革

年 (平成)	月	内 容
13	4	福岡市障害者就労施策検討委員会が設置される
	11	福岡市障害者就労支援施策検討委員会第一次報告書で「福岡市障害者就労支援センター（仮称）」の設置が提案される
14	6	福岡市障害者就労支援センター（仮称）の運営事業者募集 その後、審査委員会が開催される
	8	社会福祉法人福岡市社会福祉事業団が運営事業者に決定する
	10	開設準備室を設置する（平成15年3月まで）
15	3	福岡市障害者就労支援施策検討委員会第二次（最終）報告書が発行される
	4	福岡市障害者就労支援センター開所（1日） 開所記念式典を行う（7日）
17	2	障害者の態様に応じた多様な委託訓練の実施に係る協力を始める
	4	福岡市障がい者就労支援センターに名称を変更する（1日） 福岡市障がい者インターンシップ事業を受託する
	7	知的障害者県職場体験実習事業（福岡県）に協力を始める
19	4	パソコン講習等事業を受託する 障がい者職場定着促進事業を受託する
20	4	同業種交流会事業を実施する
21	4	就労支援相談員事業を開始する 就労移行支援事業所への技術的支援事業を開始する
22	4	登録者等管理システムを導入する
28	5	中央区長浜に事務所を移転する
29	7	障がい者雇用サポートデスクを設置する
令和元	3	知的障害者県職場体験実習事業（福岡県）終了
令和4	7	社会福祉法人福岡市社会福祉事業団が福岡市立障がい者就労支援センターの指定管理者に選定される
令和5	7	発達障がい者支援センターとともに中央区舞鶴に事務所を移転する

10. 建物概要

福岡市舞鶴庁舎 鉄筋コンクリート7階建4階 （約84.3㎡）

事業実績

1 相談の状況

障がい者やその家族からの相談に対応し、必要に応じて職場体験実習や雇用の際にジョブコーチ支援等を行った。また企業、関係機関等からの就労・雇用に関する各種相談に対応した。

(1) 相談総件数

(単位：件)

本人・家族	企業	関係機関	計
4,723	1,313	1,866	7,902

(2) 本人・家族相談のうち：障がい別総件数

(単位：件)

身体	知的	精神	発達	その他	計
413	1,253	1,699	1,335	23	4,723

※令和4年度に相談対応した登録者の延べ人数（令和4年度新規登録者を含む）

(3) 本人・家族相談のうち：相談の方法別

(単位：件)

来所	所外・訪問	アセスメント	面接同行	電話	FAX	メール	計
1,008	517	201	60	2,744	16	177	4,723

2 登録者の利用状況

障がい者やその家族、関係機関等からの相談に応じ面談を行った。その内、支援を希望された方は、登録後、個別支援計画を策定し継続的に支援を行った。

(1) 新規登録者の状況（実人数）

①障がい別

(単位：件)

身体	知的	精神	発達	その他	計
19	27	59	28	1	134

※その他：いずれの区分にも属さず、またいずれの手帳も取得していない人

②年代別

(単位：件)

10代	20代	30代	40代	50代以上	計
15	41	31	21	26	134

※登録時の年齢

(2) 当初からの累積登録者数

①障がい別

(単位：人)

身体	知的	精神	発達	その他	計
909	1,451	1,287	474	51	4,172

3 支援の状況

障がい者、その家族、企業等に対し、個別のニーズに応じてジョブコーチ支援等を行った。

(1) ジョブコーチ支援数

(単位：件)

事前支援	集中支援	フォローアップ	計
196	363	1,298	1,857

※事前支援：面接同行、事前の通勤練習や打ち合わせ等の支援

※集中支援：職場内外での集中的な支援

※フォローアップ：採用後、職場定着に向けた継続的な支援

(2) 職場実習の状況

(単位：件)

当センター 職場体験実習	障がい者イン ターンシップ	計
72	7	79

※障がい者インターンシップは事業団内での実習を含む

(3) ケース会議の実施数及び対象障がい別

実施回数	身体	知的	精神	発達	その他	参加機関数
20回	0人	6人	9人	5人	0人	45事業所

※センターを含め3者以上の機関でケース会議を実施したもの

4 就職者の状況

障がい者、その家族、企業等に対して、個別のニーズに応じて関係機関の紹介や職場実習の実施、ジョブコーチによる職場定着支援などを行い、企業就労（継続）に至った。

(1) 就職者数（延人数）

(単位：人)

区分	身体	知的	精神	発達	その他	計
総数	10	18	36	18	0	82

(2) 就職者の年代別

(単位：人)

10代	20代	30代	40代	50代以上	計
6	24	24	13	15	82

※就職時の年齢

(3) 就職時の状況

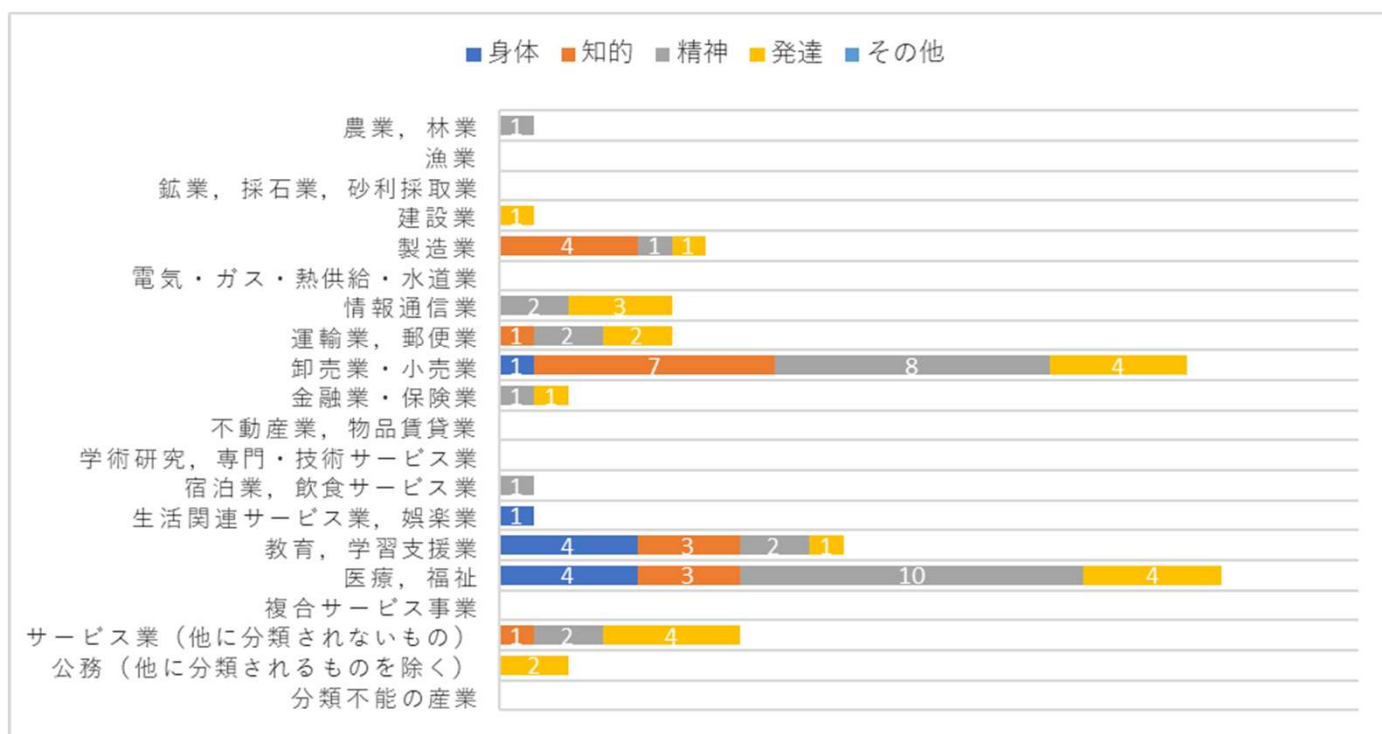
(単位：人)

区分	在宅	福祉事業所		就労中		在学中		その他 ※2	計
		就労移行	その他※1	企業	A型事業所	特別支援	その他		
年度計	59	0	4	16	0	1	2	0	82

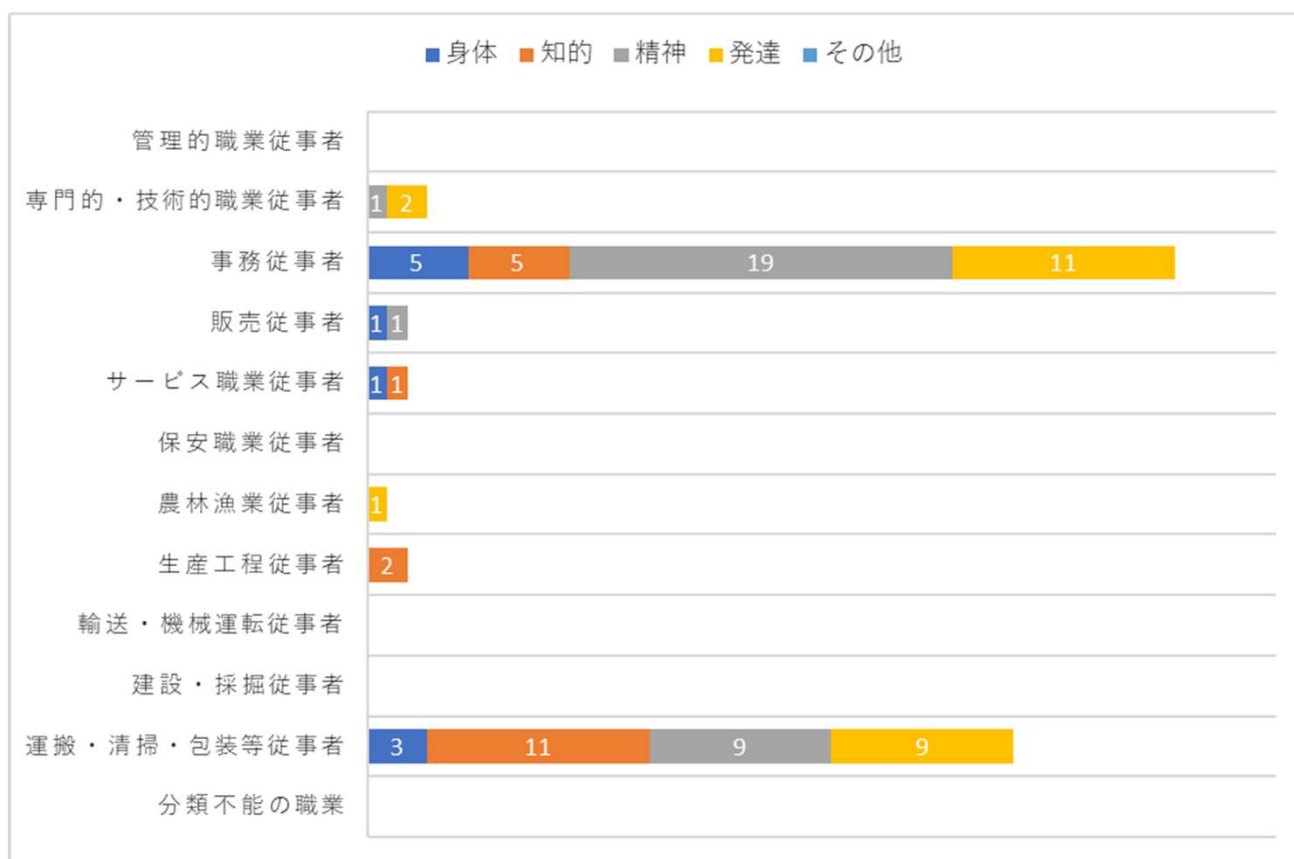
(※1) 就労継続支援B型事業所・自立訓練事業所等

(※2) 左記に含まれない事業所

(4) 就職者の産業分類別



(5) 就職者の職業分類別



※日本標準職業分類に基づき分類

5 事業実施の状況

(1) インターンシップ事業

福岡市庁舎や区役所及び事業団において、職場実習の場を提供することにより、障がい者の社会参加、就労への支援とともに障がい者理解の促進を図った。

実施件数（件）	7
---------	---

(2) 職場定着促進事業

就労に向けた準備や就労継続へのモチベーションの維持及びビジネススキルの向上を目指し、意見交換や交流ができる場を提供した。

①スキルアップセミナー

就職活動中に必要な知識や技能の習得のため、講義（ビジネスマナー等）や企業見学、模擬面接を行い早期就労を目指した。

受講後は、インターンシップ事業やサポーター企業を活用して職場体験実習を実施し、教育機関へフィードバックを行った。また、希望者には、その後の求職活動を大学等と連携して行い、就職や職場への適応・定着への支援を行っている。

区分	開催月	実施日数	内容	延べ参加人数
第1回	8～9	5	講義：就労のイメージ作りや履歴書の書き方など 演習：意見交換・面接ロールプレイ・グループワーク 企業見学：E N E O S グローブエナジー株式会社 株式会社一蘭 株式会社ナカノ商会	28
第2回	2～3	5	講義：作業体験や雇用事例紹介など 演習：意見交換・面接ロールプレイ・グループワーク 企業見学：株式会社九電ビジネスフロント 株式会社NTTルセント 株式会社ナカノ商会	37

対象：大学、短期大学、専門学校、高等学校の在学生、第2新卒者

※サポーター企業 短期間働くことを体験できる職場体験実習協力企業

②在職者を対象とした就労SST講座

企業のニーズを踏まえ、在職者を対象に、対人適応スキルの獲得・向上を目指してグループによる研修を実施した。 *SST：ソーシャル・スキル・トレーニング

・就労SST講座

講師：SST普及協会認定講師

対象者：在職者

実施日数	延べ参加人数
8	44

※SST：ソーシャル・スキル・トレーニングとは、学習理論に基づき、体系的、意図的に対象者の社会的スキル形成を図る構造化された援助方法

(3) 障がい者就労支援セミナー

企業や各関係機関をはじめとして広く市民を対象にセミナーを実施した。

開催日	内容	参加者 (人)
11月8日	〈第一部〉 講演「発達障がいがある方と共に働く上で大切なこと」 講師 株式会社Kaizen 代表取締役 鈴木 慶太氏 〈第二部〉 事例紹介「株式会社ナカノ商会～福岡第2支店障がい者雇用の取り組み～」 講師 株式会社ナカノ商会 管理本部 人事部 人事課 永田 一氏	136

(4) 3センター合同会議

令和4年度より、福岡障害者職業センター、障害者就業・生活支援センター野の花との3センター間で会議を定期的（2か月に1回程度）に開催し、情報交換や福岡市内における就労支援の現状と課題について協議した。また、7月には合同で研修会を開催した。

区分	合同会議（回）
6年度	6

・合同研修会

開催日	内容	参加者 (人)
7月24日	講演 「就労支援における医療機関との効果的な連携について」 講師 就労支援ネットワークONE 代表 中金 竜次氏	21

(5) 民間の就労支援機関への技術的支援事業

市内の民間就労支援機関の職員を対象とした研修会を実施した。

①就労支援事業所研修会

就労支援の基本的な視点等について、医療や企業で障がい者雇用に携わる立場から支援者に求めるものとして講話及び参加者間での意見交換を実施した。

開催日	内容	参加者 (人)
6月6日 会場開催	講義 「企業を知る～企業支援の視点～」 福岡市立障がい者就労支援センター 就労支援コーディネーター 演習 グループ討議「企業訪問で困らないために」	51
9月12日 会場開催	企業（5社）と就労支援事業所の情報交換 キューサイ株式会社 株式会社サワライズ 株式会社スタッフサービス・ビジネスサポート 医療法人原三信病院 ヤマト運輸株式会社九州支社	30
2月7日 会場開催	事業紹介 「就労支援事業所への支援について」 福岡市立障がい者就労支援センター 就労支援コーディネーター 事例検討 「安定した就労のために支援者ができること」	29

②スタートアップ講座

出前講座や企業見学の依頼を受け実施した。

実施回数	5	参加者内訳	職員	利用者
参加人数	26		11	15

③就労支援事業所への技術的支援

就労支援事業所に対して、体験実習先や企業情報等を提供し、支援の内容や方法などについて協働支援を実施した。

区分	就労継続支援A型・B型事業所等	就労移行支援事業所
実事業所数	22	42
実人数	23	84

(6) 大学・短大との連携支援

①大学・短大の障がいのある学生への就労支援連絡会

学生支援・就職支援担当者を対象としてセミナーを実施した。

参加機関	11
参加人数	18

開催日	内容
1月22日	講演：「障がいのある学生への支援～大学での取り組み～」 講師：福岡女学院大学 学生心理相談室 カウンセラー 臨床心理士 貝沼 久美氏 講師との質疑応答、意見交換等

②企業・学生・支援者交流会

企業・障がいのある学生・学生の支援者が互いを知る場として交流会を開催し、その後、希望する学生に対しインターンシップを実施した。

参加人数	企業	学生	支援者	計
	8	8	10	26

参加企業：ANA福岡空港株式会社
新日本製薬株式会社
福岡トヨペット株式会社
株式会社ミスターマックス・ホールディングス
社会福祉法人福岡市社会福祉事業団

(7) 企業への啓発や雇用支援

就労支援相談員が、障がい者雇用に向けた各種相談に対応するとともに必要に応じコーディネーター、ジョブコーチと連携し雇用に関する提案等を行った。
(単位：件)

①相談対応件数

企業	4,223
就労支援事業所	1,202

②企業セミナーの実施

企業を対象にした障がい者雇用セミナーを開催した。

うち初めて障がい者雇用を検討する企業を対象として、障がい者雇用スタートアップセミナーを2回開催した。

	日程及び内容	参加者
第1回	5月27日(月)～6月7日(金) 動画配信 「障害者雇用に関する制度の変更点及び雇用の現状」 福岡労働局職業安定部職業対策課 障害者雇用担当官 山本 正剛氏	139社 208名
第2回	10月25日(金) 「精神疾患のある従業員への対応」 福岡市精神保健福祉センター 所長・医師 川口 貴子氏	65社 87名
第3回	11月20日(水) 〈障がい者雇用スタートアップセミナー〉 テーマ「こうしたらできる！障がい者雇用 ～送り出し機関からみた障がい者雇用のコツ～」 講義①障害とは何か-障がい者就労に向けての留意点- 福岡市立特別支援学校 博多高等学園 進路支援担当 大原 純子氏 講義②就職相談者と企業の実情について 株式会社総合キャリアトラスト 福岡県障がい者雇用開拓事業 大野 伸太郎氏	13社 15名
第4回	12月19日(木) 〈障がい者雇用スタートアップセミナー〉 テーマ「応募したくなる！求人票の作り方・出し方 ～助成金等の制度の活用も視野に～」 講義①ハローワークでの求人票掲載の流れと制度について 福岡中央公共職業安定所 職業相談第四部門 野田 淳子氏 講義②福岡市立障がい者就労支援センターの役割と支援の流れについて 福岡市立障がい者就労支援センター 就労支援コーディネーター	14社 16名
第5回	2月13日(木) 「担当者が重要視する採用～定着の工夫～」 株式会社テノ. コーポレーション 緒方 雄介氏	38社 44名
第6回	3月7日(金) 〈企業向け発達障がい者支援セミナー〉 「発達障がいの特性と対応について」 福岡市立発達障がい者支援センター（ゆうゆうセンター） 渡邊 綾乃氏	20社 30名

③同業種交流会の実施

障がい者雇用に取り組む企業を対象に、企業間の繋がりを深め、市域における障がい者雇用をけん引するネットワークの構築に向けた取り組みとして、同業種交流会を開催した。今年度は医療業界を対象として計3回実施。

	日程及び内容	参加者
第1回	8月20日(木)	16名
	「特別支援学校での就労に向けた取り組みについて」 福岡市教育委員会 福岡市発達教育センター 所長 松本 学氏 意見交換	
第2回	9月20日(金)	15名
	「就労系福祉サービス事業所の概要や訓練内容等について」 社会福祉法人 野の花学園 中央第一統括施設長 古川 慎太郎氏 意見交換	
第3回	10月30日(水)	14名
	「医療機関における視覚障がい者の雇用について」 福岡県立福岡高等視覚特別支援学校 教諭 塚本 敏朗氏 意見交換	

④障がい者雇用サポートデスクの活動状況

来所	電話	所外・訪問	メール等	計
32	573	301	566	1,472

出前講座

実施回数	参加人数	テーマ
6	83	「障がいのある人と共に働く」等

⑤サポーター企業

短期間働く事を体験できる企業として、サポーター企業の登録企業数の確保に努めた。

登録企業数	105
-------	-----

6 その他

(1) 各種広報等の実施状況

ホームページでジョブコーチ活動報告等を掲載するとともに、広報誌を発行した。
SNS（インスタグラム、フェイスブック）を開設し、各種事業について随時広報を行った。

発行月	内 容
8	広報誌「はッピーわーく 第63号」 所長就任挨拶、事例紹介
1	広報誌「はッピーわーく 第64号」 事業紹介、事例紹介
2	令和5年度「事業報告書 第21号」

(2) 研修・研究

依頼に応じ、研修等への講師派遣や見学等の受け入れを行うとともに、積極的に職場研修を行い研鑽に努めた。

①職場研修

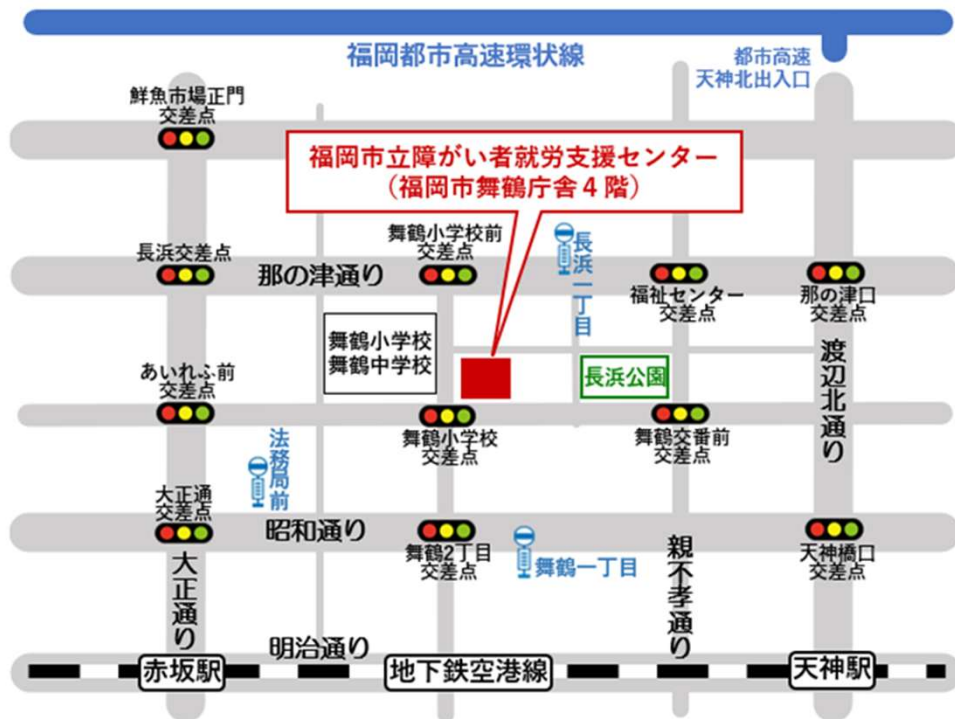
研修名	内容	講師
服務研修	服務について	障がい者就労・発達支援課
個人情報 研修	個人情報について	障がい者就労・発達支援課
接遇研修	ビジネスマナーの基本	障がい者就労・発達支援課
メンタル ヘルス 研修	リラクゼーション方法についての 学びと実践	福岡市立中央障がい者フレンドホーム
人権研修	基本的人権及び障がい者人権について	福岡市人権啓発センター
専門研修	ゆうゆうセンターについて	障がい者就労・発達支援課
専門研修	若年性認知症について	福岡市認知症フレンドリーセンター

②講師等の派遣

派遣先	派遣内容	受講者数	実施日
サンクスラボ株式会社	職員研修（センターの支援事例）	27	4月18日
福岡市教育センター	職員研修 （高等学校における発達障がい 特別支援教育の理解と支援）	25	7月25日
福岡女学院大学大学院	心理実践実習 （概要説明と施設見学）	15	7月31日
福岡市立心身障がい福祉センター 障がい者自立訓練センター （身体・高次脳機能障害）	利用者・家族向け講座 （障害者雇用の現状等）	20	8月28日
福岡市立特別支援学校 博多高等学園	1年生就職セミナー	90	9月2日
久留米大学	障がい学生に対する就活セミナー	9	9月25日
公益社団法人 博多法人会	障がい者就労支援セミナー	50	10月15日
福岡教育大学附属福岡中学校	親子進路学習会	34	10月18日
NPO地域共生を支える医療・ 介護・市民全国ネットワーク	第3回全国の集いin福岡2024	120	11月4日
福岡市立心身障がい福祉センター 障がい者自立訓練センター （発達障がい）	利用者・家族向け講座 （福岡市の就労支援体制）	17	11月5日
西新公民館	就労を支えるサービスについて	12	11月15日
福岡市中央区・南区健康課	難病講演会	8	11月19日
福岡市立発達障がい者支援センター	保護者講座「はじめの一步」	45	11月27日
福岡発達障がい者親の会 「たけのこ」	就労に向けた準備	20	1月11日
特定非営利活動法人 福岡ジョブサポート	職員研修 （対人援助～その支援の基本～）	20	3月5日

③見学者

吉備高原職業リハビリテーションセンター 他 30機関 計309名



-  西鉄バス 「長浜一丁目バス停」 徒歩3分
-  西鉄バス 「法務局前バス停」 徒歩5分
-  西鉄バス 「舞鶴一丁目バス停」 徒歩5分
-  地下鉄空港線「赤坂駅」3番出口 徒歩6分
-  地下鉄空港線「天神駅」1番出口 徒歩9分

令和6年度 事業報告書

— 第 22 号 —

発行年月日：令和7年8月

発行者：社会福祉法人 福岡市社会福祉事業団
福岡市立障がい者就労支援センター

〒810-0073

福岡市中央区舞鶴1丁目4番13号

福岡市舞鶴庁舎4階

TEL (092) 711-0833

FAX (092) 711-0834